

特定非営利活動法人 会員誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail [fureainpo@gmail.com](mailto:fureainpo@gmail.com)  
⇒ホームページ <http://www.fureai-support.jp/>

# 新春

- 法人事務所・アトリエ 〒976-0042 相馬市中村字北町1-8
  - デイサービス友遊(北町)
  - デイサービス友遊(南飯淵)
  - 中央児童センター(ポニークラブ)
  - 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)
  - 日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)
  - 磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)
  - 八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)
  - 相馬こどものみんなの家
- TEL 0244 (36) 5420  
FAX 0244 (26) 5424  
TEL 0244 (26) 5424  
TEL 0244 (36) 3582  
TEL 0244 (35) 2008  
TEL 0244 (37) 8870  
TEL 0244 (35) 3400  
TEL 0244 (32) 1787  
TEL 0244 (26) 9011  
TEL 0244 (35) 4700



小さな小さなクリスマスアート展・小・中学生コース



2022年・令和4年・壬寅(みずのえ・とら)  
今年もどうぞよろしくお祈りします。



小さな小さなクリスマスアート展・未就学児コース

## げんきでいこうみんなともだち！！



イラスト：かがいぞうけいぎょうじつのお皆さん 書は友美子先生

### 新年に寄せて・・・

雪景色の元旦、いつもと違う空気感。新型コロナウイルスの脅威は、終息の兆しが見えないまま新年を迎えました。

どんな状況でも、新しい年を迎えろにあたって、今年こそ・・・と、夢は大きく描き、小さな幸せが大きな喜びになりますように・・・と、願います。そして、今までの何気ない日常、あたりまえだった生活のスタイルをもつ一度見直し、新しい生活を創造するきっかけになれば幸いです。

平成24年に南飯淵にデイサービス友遊を開所してから今年で10年になります。翌年は北町にデイサービス友遊、訪問介護事業所友遊、介護タクシー友遊、居宅介護支援事業所友遊も加わり現在に至り多くの皆さまにご利用いただいております。利用者様はじめ家族の方の想いや願いを大切に、より安心して生活できるリンクされたオアシスづくりを目指し、日々奮闘しております。

中央児童センターの管理運営を平成18年より、相馬市から委託され活動の輪が広がりました。子ども達の豊かな心の育ちのために相馬絵画研究所で長年培ってきた活動に加え、更なる活動の場を提供し16年になります。桜丘小学校の放課後児童クラブに加え、平成23年からは飯豊小・日立木小・磯部小・八幡小のクラブの皆さんが仲間入り。各クラブとの交流・合同での活動を通して、他地域の人の出合いの中で、気配りや思いやりの心が育まれ、それぞれが成長していき、頼もしい姿が見られます。相馬こどものみんなの家では、親子教室を開催し、安心して子育てを楽しめる場を提供しております。

かがいぞうけいぎょうじつは、昭和41年に創立して、今年度で56周年。NPO法人ふれあいサポート館アトリエとして認証された19年。アトリエは100年から200年物の木のぬくもりのある魅力的な建物・雰囲気のある空間です。その中で3歳児から高校生までが一緒にアトリエを通して学び、絵を描くだけでなく遊びながら成長し合う姿が見られます。相馬絵画研究所30周年を記念し、平成8年に友遊寮を開業して26年。昨年の暮の築焚きで27回焼きあげました。3歳から90代のおじいちゃんおばあちゃん、大勢の皆さんに炎の芸術を楽しんでいただきました。また、昨年度の55周年記念事業で出版しました画集を下に、昨年9月には相馬市教育委員会主催の手彩色木版画教室、12月には福島県認知症グループホーム協議会主催の公開講座を終えました。今年3月には、東日本大震災追悼企画で真宗大谷派正西寺主催での「相馬名勝30景・付平成6景」倉本信之手彩色木版画展が開催される予定です。古くから今に至る相馬の魅力を見つめ直し、再発見する機会になればと思います。

私達の地域一体の活動が、豊かさを循環させ、皆様方のQOL(クオリティオブライフ)の向上に僅かでもお役に立てますよう・・・2022年も新しいアクションを起こし、これからも、みんなが夢と希望に満ちた未来を制作できるアトリエでありたいと願います。

スタッフ一同 イキイキ キラキラ みんな いい笑顔で  
楽しみながら、前に向かって今年も歩いていきたいと思っております。  
本年も、どうぞよろしくお祈り申しあげます。

特定非営利活動法人(NPO法人)  
ふれあいサポート館アトリエ  
理事長 倉本 信之



# ふれあいサポート館アトリエ 新春メッセージ



— げんきでいこうみんなともだち —

## 日本伝統の食文化 味噌糎作りと味噌作り 体験

日本の伝統的な味を代表する味噌を12月の15日(水曜日コース)と17日(金曜日コース)の両日、デイサービスのおじいちゃん・おばあちゃんの手ほどきを受け作りしました。210<sup>g</sup>の寒仕込みの味噌が、みんなの手であつという間に完成。

当アトリエではこの日本伝統の食文化を絶やさず継承できるよう毎年行い、今回で31回目の体験です。

子ども達は粘土のような感触に興味深々。楽しみながら意欲的に作業をしていました。おじいちゃん・おばあちゃんはその様子を優しく見守りながら作業している様子が、また微笑ましい光景でした。

味噌作りを終えた後には、指をなめどんな味が確認!「しょっぱい…」おやつには、おばあちゃんが握ってくれた味噌豆入りの味ご飯と甘味噌をかけた里芋を食べました。とっても美味しかったね。

デｲビｽの90歳のおばあちゃんが糎づくりの作業の中で、「実家に帰ってきたみたい・・・」との言葉に、昔を回想し幸せな時間にタイムスリップできたのではと、嬉しくなりました。時代の変化と共に忘れられたモノがたくさんある中で、日本伝統の味を忘れず継承し30年。継続できたのは、たくさんのおふくろ様のお陰であると感謝です。

(実母・義母・他お手伝い頂いた何人かのおふくろ様は鬼籍に入り、隣のおふくろ様は施設に入る)これからは、デｲビｽにいるおふくろ様のお手をお借りしまして、次代にバトンタッチしたいと思います。

### ★糎作りはまるで子育てのよう・・・

糎は10日(水曜日コース)から作り始め、少しずつ花が咲き、4日目には満開のお米の花が咲きお花が散らないように管理して、味噌づくりに調整しました(糎とは、お米の花と書きます。)

毎回、今年の糎は・・・と、ワクワクしながら始めるのですが、仕上がるまでの3、4日間ドキドキの毎日。陶芸の窯出しの時もそうだが、糎作りの場合はドキドキの時間が長い。しかしきれいに満開の花が咲いた時は花見気分が酔いしれるようなワクワク・・・な良い気分。

ところが今年の反省は、糎の花が満開に咲いたまではいつもよりも順調だったのに、味噌作りまでの4日間寒い所に置けば大丈夫との思い込みで糎に細やかな目配りをしなかった結果、日々、糎は成長し満開の花が散ってしまったのです。安心しきって目をかけ、手をかけていなかったのです。内の子は大丈夫という思い込みは禁物。常に目をかけ、手をかけ適度な環境を整えなければいけないのにね。

糎は子ども。まるで子育てのよう・・・です。

今更ですが、我が子の子育てと重ね合わせ、反省した今回の糎作りでした。(Sまり子)



## 小さな小さなクリスマスアート展 & スライム作り

12月25日 クリスマスの日  
アトリエでは、クリスマスアート展とスライム作りが行われました。

### ☆小さなサンタさん達から お家の人への贈り物☆

アトリエに、子ども達がパスや絵具で心を込めて描いた「ガラス絵」と、いっしょけんめい粘土をこねて作った陶芸作品の「カップ」と「お皿」を展示。「小さなクリスマスアート展」をプレゼント!寒い中、観に来てくださったお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん達もかわいらしいすてきなプレゼントに、お顔にっこり・心ほっこり・・・心も身体もあたたまったようです。

### ☆リーダーさん達※から 生徒のみなさんへの贈り物☆

※ののはリーダー、のあんリーダー、きよとリーダー、いろはリーダー、ちひろリーダー

みんな大好きな「スライム」のプレゼント!しかし・・・スライムは自分達の手で作らなければゲットできません。作り方はリーダーが教えてくれます。よくお話を聞いてチャレンジ!



大学生のちひろリーダーを中心に小・中・高のリーダー達は責任重大。教室のみなさんが来る前にいろいろ話し合い、頭を悩ませ、水・洗たくのり、ほう砂など、どれくらいの分量だと一番いいスライムができるか研究し、実験し、本番にチャレンジ。

おかげでみんな大成功!

「ウォー」、「キヤー」、「ピヨ〜ン」と、子ども達のにぎやかな声と笑顔が教室いっぱい・・・

たのしい雰囲気の中キラキラ光るきれいなスライムが完成!まるでクリスマスのイルミネーションのようなすてきなスライムができました。

スライム作りを教えるだけでなく、グループのリーダーとして責任感を果たした5人の顔もキラキラいいお顔でした。

(S友美子)

## 福島民友

2021年(令和3年)12月29日(水曜日)

### 相馬でクリスマスアート展

NPO法人ふれあいサポート館アトリエは25日、相馬市の北町アトリエでクリスマスアート展を開き、子どもたちが制作した作品を披露した一写真。

園児から中学生までの46人と保護者らが参加。動物や植物を描いたガラス絵、カップや皿などの手作り陶器を並べた。子どもたちは互いの作品を見比べたり、自らの作品を誇らしげに保護者に紹介したりした。



## 2つの「相馬名勝30景・付平成相馬六景」手彩色木版画制作体験教室

倉本先生の助手になって (S遠藤裕子)

8月、相馬市の広報誌で倉本信之先生が講師になり、市教育委員会主催の「木版画制作体験教室」があると知りました。学生時代、棟方志功に師事された信之先生の版画制作が体験できるとあって、申し込みをしようと考えていました。そんな矢先、倉本先生から助手をしてくださいませんかとお打診があり、一も二もなくお引き受けしました。当日まで実技練習や打ち合わせを重ねました。

9月、約20名の市民の方々が、期待と不安の入り交じった表情で木版画の刷りと彩色に挑戦しました。ちょっと緊張しながら紙をめくるあの瞬間、刷り上がった相馬名勝の版画に好きな色で彩色する時のワクワク感、久々に創る喜びを味わったように思われました。終了時間がきてもやめない人、名残惜しそうに片付けをする人、第二回目はいつ?と聞いてくる人。そんな姿は、コロナ禍で誰もが文化的、芸術的なことに飢えているのかもしれないと感じました。

12月、福島市の杉妻会館で福島県グループホーム協議会の公開講座があり、倉本先生が講演をされることになりました。講演の中に参加者が一時でも仕事から離れて、リラックスしながら参加して欲しいと、木版画制作の体験を取り入れました。若い方が多く、私の実技を見た後はテキパキと真剣に取り組んでいました。片付けを横目に見ると、その後の倉本先生のパワーポイントを使っの講義は、デスクッションも含めて親和的な雰囲気が進められていましたので、先生の思案通りでした。最後に、サプライズで倉本先生の版画作品を一人一人、お土産に手渡され大喜びでした。私も幸せな一日でした。

